

福島第一原発の廃炉・汚染水対策を担う人々の想いをご紹介します。

- 凍土遮水壁工事を行っている鹿島建設(株) (上原さん) ○タンクの汚染水漏れ対策を行っている大成建設(株) (竹内さん)
○東京電力(株)福島第一原子力発電所 (小野さん、堀内さん) ○現地事務所職員 (木野)

○ 高い意識の作業員

協力企業としてご参加いただいている作業員の方々は、非常に高い意識を持たれているように感じます。皆さん、最初は、放射線に不安を持たれているのですが、敷地内の管理されている状態がわかると、非常に熱心に働いていただいております。私達も、この辺りをもっとアピールし、作業員の方に丁寧に説明して、作業員の確保に努めていきたいと思ひます。



鹿島建設株式会社
福島第一凍土遮水壁工事事務所
次長 上原 昌也さん

○ 仕事で気を付けていること

私は、土を凍らせることで、地下水の流入を防ぐ壁をつくり、それで1～4号機の建物をぐるりと一周して囲う工事に携わっています。敷地内の地下には、非常に多くの埋設物があり、使われていない配管なども多いのですが、中には、現在も使われている埋設物があります。電源などの埋設物については、傷つけてしまうと大変なので、非常に気を付けて取り組んでいます。

○ 住民の皆様へ

いわきで知り合った方から、「頑張ってください」と言われると、非常に励みになります。また、ダンプカーなどで工事用の資材を運ぶ際に、ご迷惑を掛けている地区もありますので、なるべくご負担のかからないように配慮していきたいです。



東京電力株式会社
福島第一原子力発電所
所長 小野 明さん

○ 住民の皆様へ

福島第一の事故では、今もなお県民の皆様、また広く社会の皆様にご迷惑、ご心配をお掛けしていることを深くお詫び申し上げます。私達は、第一に、皆様に、福島第一について安心していただけるようにすること、そして、そのためには、福島第一で何が起きているのかということ、的確にわかりやすく伝えることが非常に大事だと思っています。この2点をきちんと実行していきたいと考えています。

○ 現場で働く所員への思い

今、福島第一は、廃炉作業の進捗やトラブルなどが大きくニュースに取り上げられています、それだけ社会から注目されているということだと思います。福島第一の所員にはそれがプレッシャーになっていると思いますが、それだけ重要な仕事を担っていると捉え、私としては、みんながなるべく前向きに働いていけるよう、メッセージを出していきたいと思っています。

○ 協力企業との連携について

現場の作業員の皆さんが、安全で仕事をしやすい環境を整備することが私の使命です。現場では、カバーオールを着て全面マスクをして作業をするという場所が多いので、これをもっと作業しやすい装備で働ける環境にしていきたいと考えています。また、廃炉作業というものは、協力企業の皆様のご協力なくしてはやっていけないものですので、様々な機会を通じて信頼関係をより強固なものにしていきたいと思ひます。



大成建設株式会社 東北支店
東電福一関連工事作業所
作業所長

竹内 良平さん

○ タンクの漏えい対策

私は、タンクからの汚染水の漏えい対策のため、汚染土壌の撤去、タンクの解体、堰のかさ上げなどの工事に携わっています。この工事は、とても重要で、非常に短いスケジュールで緊急に対応しなければなりませんでした。

現場のみんなで作業日程を組み、日曜・休日を返上しながら、時には、昼夜を問わず、工事を進めていきました。

これから梅雨を迎え、その後はいよいよ暑くなってきましたが、天候と闘いながら、重装な防護服を着ての作業は、やはり大変です。でも、とても重要な仕事ですので、精一杯頑張ります。

○ 住民の皆様へ

当社も、日本全国から非常に多くの作業員が集まって、作業を行っています。

我々は、福島への復興への強い思いを抱きながら、一生懸命、工事を進めています。

皆様には、日々、強い気持ちで頑張っていますということ、一番にお伝えしたいです。

○ 工事は安全第一

私は、主に海側、護岸の工事に携わってきました。震災以降しばらくの間は、小名浜から北へは一般の船が入れない状況でした。そうした中、一緒に仕事をしていただける方々を探すのに、大変苦労しました。今は、狭いエリアに多数の重機が入って作業をしているので、例えばこの仕事は昼に行く、別の仕事は夜に行くといった形で、24時間体制で作業を進めるなど、安全を第一に様々な工夫をして工事を進めています。



東京電力株式会社
福島第一原子力発電所 土木部
土木第三グループマネージャー
堀内 友雅さん

○ 住民の皆様へ

地下水バイパス設置工事にも携わっていたこともあり、くみ上げた地下水の海洋への排水について、漁業関係者をはじめとした皆様にご同意をいただいたことに関して、本当に感謝の気持ちで一杯です。

これからも皆様から、福島第一の状況が以前よりは良くなったと、少しでも言っていたできるように、頑張っていきます。

◆◆◆ 現地事務所職員から◆◆◆

現地事務所の出勤時間は8時半ですので、遅くても7時半には宿舎を出ます。

今日は火曜日。必ず福島第一に入る日です。

多核種除去設備や凍土壁、貯水タンクの堰など、様々な作業の進捗状況について、現場で確認をしています。

5月21日からは、地下水バイパスの放水作業の立会いも、行っています。

また、毎月、定期的に被災自治体を訪問し、廃炉・汚染水対策の説明をさせていただいております。

今後は、このニュースレターを定期的に発行することなどを通じて、現地事務所からも、積極的に情報発信を行ってまいります。



廃炉・汚染水対策現地事務所
参事官 木野 正登

発行 内閣府 廃炉・汚染水対策現地事務所



住所：福島県双葉郡楢葉町大字山田岡美し森8-57
連絡先：0240-25-5780